



きこえとことばの教室だより

武蔵村山市立第九小学校 校長 村山 博子

令和3年3月15日（月）NO.6 きこえとことばの教室



1年間、保護者の皆様には通級指導への御理解と御協力をいただき誠にありがとうございました。早いもので、今年度の通級指導が終了しようとしています。今年度この1年間で、子供たちは心も体も大きく成長したことと思います。御家庭でもお子様と一緒に今年度を振り返り、1年間の成長を褒めていただきたいと思います。

今年度最後の教室だよりでは、通級で成長が見られたことやできるようになったことについて、児童や保護者の皆様から教室に寄せられたご意見をご紹介します。

<6年生A君>

ぼくは、きこえとことばの教室に5年間通いました。入ったきっかけは、自分には吃音があって、不安な気持ちもたくさんあって、きこえとことばの教室に通い始めました。入ってみて、吃音のことを考えることが多くなりました。吃音の悩みや不安が前より少なくなりました。中学校に行っても不安だけど、発表できる時は発表して、頑張っていきたいです。



<1年生B君>

ぼくは、ホットケーキのベロが上手にできるようになりました。スーという息もうまく出せるようになりました。スーの息で先生と戦ったスूसूसーサッカーとスूसूसーボウリングが一番楽しかったです。全部ぼくが勝ったよ！



<6年生Cさん保護者>

年長の秋頃から通いだしました。同年代の子に比べてできないことも多かったのですが、毎時間、娘の良い所、できることをたくさん褒めていただけて、親子共々本当に嬉しかったです。

困っていることや何を聞き間違えているかの理解は、高学年になるにつれてできるようになり、対処のしかたも先生と話しながら少しずつ自分でできるようになりました。通級に通って娘をたくさん認めてもらえて本当に良かったです。



<5年生Dくん保護者>

息子がことばの教室に入級したのは、1年生の4月です。その頃は、頭の中には沢山の想いがあるのですが、伝わるように話をする事ができず、自信がもてない子どもでした。

ことばの教室での指導、学習を通して、徐々に自信を付けていきました。4年生の時には、ディベートの授業で自分の考えを発表し、5年生の今年は『6年生を送る会』で司会に立候補し学校生活を楽しんでいるようです。

在籍校の他にもう一つの学校があることで、居場所がもう一つあり、沢山の教えを頂き、視野も広がり色々なことに興味をもてる子どもに成長できました。



令和3年度 1学期の主な予定

- * 4月19日(月) 通級開始
- * 7月 9日(金) 1学期通級終了
- * 7月12日(月) さくらんぼの会
 - ・通級の曜日と時間は、各担当者と調整いたします。
 - ・予定は変更となる可能性があります。



今年度、きこえとことばの教室で購入した本、また保護者の方へお勧めした本をご紹介します。気になるページの一部分だけなどでもかまいません。ほんの少し時間のあるときに、ぜひ手に取ってみてください。



子どものための 自分の気持ちが<言える>技術

著：平木 典子

お互いを認め合い、尊重し合うコミュニケーションの考え方とその方法について、具体的な例をもとに1～2ページで分かりやすく解説してあります。挿絵もあり、様子が分かりやすく描かれています。私たちもこの本を読んで、自分の気持ちに気付いたり、言葉の選び方を考えたりすることができました。